

# 令和7年度 福岡支部 事業計画・保険者機能強化予算 の策定について

---

# 1. 保険者機能強化予算 の策定について

## 1. 保険者機能強化予算の策定について（経過）

令和5年度より、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取り組みに意欲的な支部に対し、「支部保険者機能強化予算」の「通常枠」に追加して「特別枠」として予算措置された。

また、令和6年度から「広報基本方針」に基づき、新たに「最重点広報経費」及び「特別広報経費」が予算措置されることになった。

### 【令和6年度 広報テーマ】

- ・最重点広報：健康づくりサイクルの定着（健診受診と健診結果に応じた行動の重要性）
- ・特別広報テーマ：マイナンバーカードと健康保険証の一体化

さらに、被扶養者の特定健診実施率の向上のために行っている集団健診（協会主催）について、「拡充するオプション健診の実施費用」が予算措置されることになった。

### 【拡充するオプション健診項目】

- (1) 骨粗鬆症検診 (2) 歯科検診 (3) 眼底検査

なお、令和7年度の予算額（特別枠含む）については、令和6年度と同程度とする方向で検討が進められている。

## ■ 福岡支部の予算枠

<令和6年度>

予算区分	支部予算枠（千円）	
	通常枠	特別枠
支部医療費適正化等予算	30,313	7,500
支部保健事業予算	181,972	45,020
最重点広報経費	3,517	0
特別広報経費	2,040	0
拡充するオプション検診経費	6,400	0
合計	224,242	52,520

<令和7年度>（見込み）

【令和6年度と同程度の予定】

# 1. 保険者機能強化予算の策定について

## < 令和6年度 支部保険者機能強化予算（区分等） >

予算区分	分野	支部予算枠（千円）	
		通常枠	特別枠
支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	30,313 (30,312)	7,500 (7,500)
	②広報・意見発信経費		
最重点広報&特別広報予算	③最重点広報経費	3,517 (0)	—
	④特別広報経費	2,040 (0)	—
支部保健事業予算	⑤健診経費	181,972 (181,972)	45,020 (45,020)
	⑥保健指導経費		
	⑦重症化予防事業経費		
	⑧コロナヘルス事業経費		
	⑨その他の経費		
	⑩拡充するオプション検診経費		
合計		224,242 (212,284)	52,520 (52,520)

※「支部医療費適正化等予算」の「①医療費適正化対策経費」と「②広報・意見発信経費」の予算配分は支部の裁量で決定できる。

### ■ 支部医療費適正化等予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
①医療費適正化対策経費	事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及奨励業務委託	0 (7,521)	—
	福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルスセミナーの開催	456 (456)	—
	医療費適正化等を目的とした事業所訪問などによるインセンティブ制度の取組奨励業務	7,317 (0)	—
②広報・意見発信経費	協会けんぽ「かべ新聞コンクール」	13,677 (13,664)	—
	紙媒体による広報 ・事業所向け納入告知書同封チラシ（5,606千円） ・任意継続等制度周知パンフレット（718千円） ・メールマガジン勸奨チラシ（552千円） ・協会けんぽのサービス一覧の作成（649千円）	7,526 (6,970)	—
(特別枠)		—	0 (—)
合計		28,611 (29,275)	0 (—)

### ■ 最重点広報&特別広報予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
③最重点広報	健康づくりサイクルの定着	3,498 (0)	—
④特別広報	マイナンバーと健康保険証の一体化	1,743 (0)	—

### ■ 支部保健事業予算

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
⑤健診経費	健診実施機関実地指導旅費	300 (300)	—
	集団健診	33,219 (39,892)	—
	事業者健診の結果データの取得	32,995 (29,019)	—
	健診推進経費	10,340 (10,340)	—
	健診受診勧奨等経費	14,711 (15,361)	—
⑥保健指導経費	中間評価時の血液検査費	9,900 (11,946)	—
	保健指導用パンフレット作成等経費	264 (231)	—
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	27 (93)	—
	保健指導用図書購入費	266 (183)	—
	保健指導推進経費	4,989 (5,018)	—
⑦重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	39,444 (33,828)	—
	重症化予防対策（糖尿病性腎症）	15,223 (15,337)	—
⑧コロナヘルス事業経費	コロナヘルス事業（健康宣言事業）	15,008 (13,972)	—
	情報提供ツール（事業所カルテの作成）	4,554 (4,925)	—
⑨その他の経費	支部保健事業の調査分析等に係る受託研究事業	0 (500)	—
⑩オプション健診	被扶養者の集団健診における骨粗しょう症検診・歯科検診・眼底検査	6,400 (0)	—
	(特別枠)	リスクスコアを活用した禁煙勧奨通知書の発送について	—
	喫煙対策の推進	—	0 (1,100)
合計		187,640 (182,095)	14,960 (1,100)

※（ ）内は同事業における前年度（令和5年度）の予算額を掲載。

## 1. 保険者機能強化予算の策定について（スケジュール）

---

### <令和7年度 支部保険者機能強化予算にかかる評議会スケジュール>

■ 10月評議会 令和7年度 福岡支部事業計画・保険者機能強化予算の策定について  
福岡支部の課題を踏まえた令和7年度の重点施策等に関する検討



事務局案の作成

■ 1月評議会 支部事業計画・保険者機能強化予算（案）の提示



議論を踏まえた修正

■ 3月評議会 支部事業計画・保険者機能強化予算（最終案）の提示・承認

## 2. 福岡支部の課題と令和7年度 事業内容の検討

## 2. 福岡支部の課題と令和7年度事業内容の検討

福岡支部の重点課題		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1人当たり医療費（年齢調整後）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度：全国6位</li> <li>・特に入院医療費が全国平均より高い</li> <li>・新生物による影響（寄与度）が高い</li> <li>・循環器系の疾患による影響（寄与度）が高い</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特定健診・特定保健指導の実施率等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度実施率</li> <li>・特定健診／福岡：58.4%（38位） （国によるR6年度目標値：62.4%）</li> <li>・特定保健指導／福岡：23.5%（21位） （国によるR6年度目標値：21.4%）</li> <li>・代謝リスク保有者の割合が高い</li> <li>・喫煙者の割合が高い</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療保険制度等に関する加入者理解度 ＜重視したい項目＞                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナ保険証</li> <li>・保険料率（インセンティブ制度等）</li> <li>・コラボヘルス（健康宣言）</li> <li>・健診・保健指導</li> <li>・上手な医療のかかり方</li> <li>・健康づくりサイクル</li> </ul> </li> </ul>
その他、広報・周知が必要な事項		
ジェネリック医薬品（バイオシミラーを含む）の使用促進、限度額適用認定証の利用促進、正しい柔道整復のかかり方、交通事故等の第三者行為届の提出、業務災害等には健康保険が使えないこと、資格喪失（退職等）後の医療機関受診の防止		

課題を踏まえた  
取組の検討

令和7年度 事業内容の検討（案）		
医療費適正化対策	広報・意見発信	保健事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市等との共同によるメンタルヘルス対策セミナーの開催 <span style="float: right;">継続</span></li> <li>●医療費適正化等を目的とした事業所訪問等によるインセンティブ制度の取組勧奨及びマイナ保険証の利用促進 <span style="float: right;">強化</span></li> <li>●バイオシミラーの使用促進に向けた取組 <span style="float: right;">新規</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」 <span style="float: right;">継続</span></li> <li>●紙媒体による広報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向けチラシ（納入告知書同封）</li> <li>・任意継続加入者向けパンフレット</li> <li>・協会けんぽのサービス一覧の作成 等</li> </ul> <span style="float: right;">継続</span> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定健診・特定保健指導実施率向上のための取組 <span style="float: right;">継続</span></li> <li>●未治療者に対する受診勧奨 <span style="float: right;">継続</span></li> <li>●糖尿病重症化予防対策 <span style="float: right;">継続</span></li> <li>●コラボヘルス（健康宣言事業等）の推進 <span style="float: right;">継続</span></li> <li>●喫煙対策の推進 <span style="float: right;">継続</span></li> </ul>

# 3. 医療費適正化対策事業（案）

### 3. 医療費適正化対策事業（案）

#### 案1 メンタルヘルス対策セミナー（継続事業）

加入者・事業主の関心度が高いメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催する。  
 （福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市・久留米市との共催）

開催予定回数：県内4回

予算規模：50万円程度

##### ≪令和2年度≫

○新型コロナウイルスの影響により中止

##### ≪令和3～5年度≫

- 会場開催（県内4会場）に加え、Zoomによる動画配信を実施
- 講演内容
  - ・「コロナ禍におけるメンタルヘルス対策」
  - ・「職場内におけるこころとからだの健康づくり」など

##### ≪令和6年度≫

- 会場開催（県内4会場）
- 講演内容
  - 「職場におけるメンタルヘルス対策」

##### 【会場参加者数】

令和3年度	96名
令和4年度	226名
令和5年度	367名
令和6年度	383名

参考 メンタルヘルスセミナー案内

## 1 令和6年度 メンタルヘルス対策セミナーのご案内

福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・久留米市・飯塚市ほか共催

毎年ご好評をいただいておりますメンタルヘルス対策セミナーを今年も開催いたします。  
 先着順ですのでお申込みはぜひお早めをお願いいたします。

**プログラム(予定)**

- 「行政からのお知らせ」(30分)  
福岡労働局雇用環境・均等部指導課
- 「職場におけるメンタルヘルス対策」(仮題/90分)  
講師：福岡産業保健総合支援センター

**会場・日程**

会場	会場所在地	開催日時	定員
福岡市立西市民センター	福岡市西区内浜1-4-39	7月 2日(火)	300名
ウェルとばた	北九州市戸畑区汐井町1-6	7月12日(金) 13:30	150名
えーるピア久留米 視聴覚ホール	久留米市諏訪野町1830-6	7月19日(金) 16:00	150名
飯塚市役所本庁舎 多目的ホール	飯塚市新立岩5-5	8月 8日(木)	60名

**申込方法**

労働局ホームページよりお申込みください  
 ▶ <https://www.roudoukyoku-setsumeikai.mhlw.go.jp/>

説明会 労働局  で検索

**申込期間**

令和6年6月10日(月)より受付開始しております。(先着順)

※締切は各開催日の1週間前までです。  
 ※今年度は会場での受講のみとなります。




たくさんのお申込み  
お待ちしております！



### 3. 医療費適正化対策事業（案）

## 案2 医療費適正化等を目的とした事業所訪問等によるインセンティブ制度の取組勧奨及びマイナ保険証の利用促進（強化）

インセンティブ制度の周知・広報を通じて、医療費適正化に資するジェネリック医薬品の使用促進や健診受診・特定保健指導の利用に関する理解を深めていただくとともに、健康づくりの推進に向けて健康宣言の登録及び基本モデル切り替え、健康保険委員委嘱拡大等を図るための文書・電話・訪問勧奨を実施する。

※令和7年度はマイナ保険証の利用促進についても実施を検討

実施予定件数：電話勧奨 4,000件  
電話&訪問勧奨 300件

予算規模：730万円程度

### 健康保険料のことご存じですか？

健康保険料ってなに？  
健康保険料率はどうやって決まる？  
健康保険料率ってなに？  
健康保険料率って何に使われるの？  
健康保険料率はどうやって決まるの？  
健康保険料率は上がり続けてしまうの？

健康保険料は、被保険者と事業主が半分ずつ負担します。毎月の給与や賃金から差し引かれます。40歳以上65歳未満の被保険者の方は、介護保険料も一緒に天引きされます。

健康保険料率は、都道府県ごとに「算出される支出（医療費等）を無効にする必要となる「保険料収入（自前助産費を除く）の金額」に基づいて算出されます。

インセンティブ制度  
府県の施策による医療費抑制するなか、医療費に占める医療費抑制する割合が平成30年度より向上された。抑止が上記の支拂は保険料率の引下げにつながる。

医療費の適正化や高齢化の進展等により、医療費は年々上昇してまいります。

一人あたりの医療費は年々増加傾向にあります。さらに少子高齢化により、団塊の世代がすべて75歳になる2025年には、75歳以上が全人口の18%となり、後期高齢者支拂の大幅な増加等が見込まれます。支出が増えたと、それに伴い保険料（収入）も上がってしまいます。

医療費を上手に使う + 予防・健康増進に取り組む  
ことで、医療給付費等の伸びが抑制でき、結果的に自身の健康維持と健康保険料率の低減へつながります。皆様一人ひとりが、できることから始めてみましょう！

### 医療費の上昇を抑制するには？

医療費を上手に使う  
ハシゴ受診をやめましょう  
最初にご相談できる近くの  
お医者さん(かかりつけ医)をもちましょう  
急病・緊急以外は、  
診療時間内に受診しましょう  
病院へ行く？  
救急車を呼ぶ？  
迷ったらまず電話

5つの取組(評価指標)と、令和4年度の順位

特定保健指導の実施率	UP 22位 (前年度42位)
特定保健指導の実施率	UP 3位 (前年度46位)
特定保健指導対象者の減少率	UP 20位 (前年度32位)
医療機関への受診回数抑制率 において減少率が受診を抑制する者の 医療機関受診率	UP 11位 (前年度39位)
ジェネリック医薬品の使用割合	DOWN 19位 (前年度1位)

総合6位  
令和4年度の順位  
7位から5.2位に改善されました！  
令和5年度は15位以内に入っため、令和6年度の自前助産費率が0.056ポイント引き下げられました！  
引き続き奮闘づくりに取り組んでいきましょう！

全国健康保険協会 福岡支部  
福岡支部

### 3. 医療費適正化対策事業（案）

#### 案3 バイオシミラーの使用促進にかかる取組（新規）

厚生労働省の定める第4期医療費適正化計画の基本方針において、バイオ後続品（バイオシミラー）の数値目標や、保険者・医療関係者との連携が定められている。協会けんぽでは、第4期医療費適正化基本方針に則り、2024年度パイロット事業を「バイオシミラー情報提供ツールを活用した医療機関へのアプローチ事業」と定め、バイオシミラー使用促進事業を一部の支部で先行的に実施している。

##### ■バイオシミラーとは

国内で既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品（先行バイオ医薬品）と同等／同質の品質、安全性、有効性を有する医薬品として、先行バイオ医薬品の特許が切れた後に、異なる製造販売業者により開発される医薬品。

##### ■国の数値目標

2029年度にバイオシミラーに数量ベースで80%以上置き換わった成分数が全体の成分数の60%以上とする。

##### ■協会けんぽの取組 2024年度「バイオシミラー情報提供ツールを活用した医療機関へのアプローチ事業」

福岡支部を含む全10支部が参加。医療機関別にバイオシミラーの使用割合を見える化したアプローチツールを活用し、各医療機関へ訪問を行い、ヒアリング・使用促進を行う（福岡支部は2025年1月に訪問実施）。

##### ■令和7年度に実施する取組の検討

福岡県医師会・福岡県薬剤師会・福岡県病院薬剤師会を訪問。患者側への周知・啓発の必要性や、医療機関・医師に対する研修会等の実施、個人経営クリニックへの訪問も効果的である、とのご意見を踏まえ、令和7年度に実施する取組を検討。

##### ■参考 福岡県の取組（令和6年度第1回福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会 資料参照）

患者・一般の方向けの啓発資材（ポスター等）を作成し、2025年2月頃に福岡県内医療機関・薬局へ配布予定。

## 4. 広報・意見発信事業（案）

## 4. 広報・意見発信事業（案）

### 案 医療費適正化のための啓発事業「かべ新聞コンクール」（継続事業）

将来の健康保険制度を担う次世代層の小学5年生及び  
中学2年生（福岡県内全域）を対象に、健康や医療費  
をテーマとした「かべ新聞コンクール」を実施する。

- 小学5年生は「健康づくり」を主テーマとし、学校  
や家族ぐるみで健康について考えるきっかけ作りと  
する。
- 中学2年生は、「医療保険制度」や「医療費」を主  
テーマとし、制度の持続性確保のために必要な取り  
組み（医療費適正化等）について考えるきっかけ作  
りとする。
- 教育委員会の後援等をもとに、県内の小・中学校に  
広く広報し、応募件数の増加等を図ることで、本事  
業の実効性の向上につなげる。

募集対象者：約90,000人

小学5年生：公立小学校約700校（約45,500人）

中学2年生：公立中学校約300校（約44,500人）

予算規模：1,360万円程度

#### <第5回 健康かべ新聞コンクール 表紙>

##### <小学5年生>



##### <中学2年生>



## 4. 広報・意見発信事業（案）

### （参考）子ども健康教育の推進

保健事業の実績向上に向けて、健診や特定保健指導のほか、健康づくりに対する理解を促進させることが重要と考え、多くの支部で様々な健康教育に取り組んでいる。特に、学齢期等を対象とした取組は、将来の加入者の健康増進やその医療費の抑制に繋がることから社会的な意義を持っており、SDGsの取組の一つとして考えられる。

#### ■協会けんぽの取組 2024年度「こども健康教育プロジェクトチーム」設置

こどもへの健康教育を実施する共通資材の作成等を検討するため、福岡支部を含む全12支部と本部で構成。先行して健康教育の取組を進めている支部のノウハウ等を活用し、健康教育実施にかかるナレッジ集と共通資材を作成。

#### <共通資材イメージ>



## 5. 支部保健事業（案）

機密性1  
5. 支部保健事業（案）

案1 支部保健事業予算（案）

分野	事業名	経費（千円）	
		通常枠	特別枠
⑤健診経費	健診実施機関実地指導旅費	300	－
	集団健診	33,219	－
	事業者健診の結果データの取得	32,995	－
	健診推進経費	10,340	－
	健診受診勧奨等経費	14,711	－
⑥保健指導経費	中間評価時の血液検査費	9,900	－
	保健指導用パンフレット作成等経費	264	－
	保健指導用事務用品費（測定用機器類等）	27	－
	保健指導用図書購入費	266	－
	保健指導推進経費	4,989	－
⑦重症化予防事業経費	未治療者受診勧奨	39,444	－
	重症化予防対策（糖尿病性腎症）	15,223	－
⑧コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業（健康宣言事業）	15,008	－
	情報提供ツール（事業所カルテの作成）	4,554	－
⑨その他の経費	支部保健事業の調査分析等に係る受託研究事業	－	－
⑩オプション健診	被扶養者の集団健診における骨粗しょう症検診・歯科検診・眼底検査	6,400	－
（特別枠）	リスクコアを活用した禁煙勧奨通知書の発送について	－	14,960
合 計		187,640	14,960

※令和6年度予算ベースで掲載しており、経費については一定の効率化を図る。

## 5. 支部保健事業（案）

### 案2 喫煙対策の推進（継続事業）

福岡支部は、喫煙者の割合が全国平均と比べて高い。また、1人当たり医療費（入院）が全国平均と比較して高く、1人当たり医療費（入院）についての新生物による影響（寄与度）が大きく、新生物の中でも「気管、気管支及び肺の悪性腫瘍」の割合が全国平均より高くなっており、喫煙対策の継続が必要である。

#### ■2024年度の実施①「健診結果・レセプトデータ等を分析したリスクスコアを活用した禁煙勧奨通知」

生活習慣病予防健診を受診した35歳以上の喫煙習慣のある被保険者に対し、健診結果及びレセプトデータの分析を行い、喫煙による「脳卒中」「心筋梗塞」「がん」等の疾病発症確率を掲載した禁煙勧奨通知を送付。禁煙を促すことで、喫煙習慣が悪影響を与える疾病の発症を予防し、医療費適正化及び健康度の向上を図る。

通知予定件数：30,000件

通知時期：2025年3月末

予算規模：1,500万円程度

※2025年3月に禁煙勧奨通知を送付し、2025年度に健診結果の分析・効果検証を行う。分析・効果検証の結果を受けて2026年度の事業内容を検討。

#### ■2024年度の実施②「オンライン等による禁煙プログラム」

健康宣言に登録する事業所の喫煙者を対象に、スマートフォン等のICTを活用したオンラインの禁煙プログラムを実施。

実施予定件数：100件

実施時期：2024年10月末～2025年3月末（うちプログラム実施期間は3か月）

予算規模：170万円程度

機密性1